

誠実

誠実 心にまっすぐ生きる = 言行一致

よく考え 助け合って やりぬく

2016.06.13 No.13
北陵中学校生徒指導通信
学校電話 0572-27-6068

第Ⅱ期スタート (6/13～7/20)

第Ⅰ期では、どの学年も宿泊を伴う研修に向けて、土台づくりができたことでしょう。スタートダッシュキャンペーンや研修に向けての各学年での取組では、リーダーの呼びかけや委員会・系の呼びかけや指示があって、時間行動や約束の厳守ができました。

第Ⅱ期は、7/20が出口です。「一人きりでもやり抜かなければいけない」夏休みを前にした第Ⅱ期では、『学校生活で、仲間と共にできた』がなければいけません。声を掛けてくれる仲間の中で、自分がどう動くのか？ 応えるのか？ これは、姿で示すことでもあります。自分から声を掛け、自分から姿で示す。また、自分の為に声を掛けてくれることに感謝をし、その仲間に応えることで安心感と信頼感が生まれます。そんな『呼応』の関係を築くことが、第Ⅱ期となります。つまり、第Ⅱ期のキーワードは、『呼応』です。

その「呼応」。意味は、一方が呼びかけ、または話しかけ、相手がそれに応えること。互いに呼びかわすことです。呼び交わす…この言葉、よく耳にしますよね。

“呼び交わす”は北陵中学校校歌の1番にある言葉です。呼応は、北陵中学校で、大事なことの1つです。

呼びかける行為。

どうして、呼びかけるのだろうか？ 1つは、自分の立場（係）の責任を果たそうとする責任感がそうさせるのでしょう。そして、自分の学級の為にという使命感にも似た愛情もそこにはあることでしょう。その呼びかける仲間の心の内を察してください。

応える行為。

応えるの“応”の字は、『応援』の“応”という字です。自分ために、他者のために、学級のために『一生懸命』で『ひたむき』で『思い遣って』くれる声に応え、支える自分となりなさい。

中庭には、紫陽花（あじさい）が咲きだしました。

紫陽花の花ことばには、○辛抱強い愛情 ○一家団
欒、家族の結びつきなどがあるそうです。言葉としては、「強い絆で結ばれている」という状態がイメージとしてパッと浮かんでくるような花言葉が特徴です。

そんな紫陽花のような「学級集団」、「学年集団」にするために、確固たる『呼応』の関係を築く第Ⅱ期としましょう。

